



真龍小便い

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.3 令和5年5月31日発行

子どもには、自己決定する力がある

校長 斉 藤 直 彦

学校生活では、子ども同士のトラブルは、毎日起きます。ほとんどが、その場で解決できるトラブルです。でも、**次のような解決のしかたは、真龍小学校では行いません。**

こどもA：「先生、Bさんに、一緒に遊ぼう、と言ったら、無理！と言われた。」
 先生：「そうなんだ。Bさんに聞いてみるね。」
 「Bさん、Aさんに一緒に遊ぼうと言われて、無理！って言ったの？」
 こどもB：「言っちゃった・・・」
 先生：「そんなふうに言ったら、Aさんはいやな気持ちになるから、謝りなさい。」
 こどもB：「ごめんなさい。」
 こどもA：「いいよ。」

一見、学校でよくみられる風景のように感じるかもしれませんが、このようなやり取りは、真龍小学校では行いません。

なぜなら、自分の言ってしまったことを反省して謝ることは、子ども自身で決めることが（自己決定）できるからです。子どもができることを、先生が代わりにや
ってあげてしまうと、「甘やかし」になってしまいます。

それでは**真龍小学校の解決のしかた**を紹介します。

- ①先生は、まず、Aさんに、「あなたはどうしたいの？」「どうなることを望んでいるの？」と聞いて、進む方向を自己決定させます。
- ②次に、Bさんにも事情を聞いたうえで、Bさんにも「どうしたいの？」と聞きます。
 このように、先生がかかわると、子どもは、自分の行動を自分で決めます。
- ③最終的には、「伝え方を間違えてしまった」ことを、BさんがAさんに謝ることによって解決の方向に進みます。



絵：まえばた ななせ

さらに、真龍小学校では、これでは、終わりません。

- ④「次に、断りたい時があったら、どうする？」とBさんに質問して、「次はどうするのか？」についても、先生と子どもで一緒に考えていきます。

このように問いかけながら、「自分も相手も大切にする関わり方」を学んでいきます。

真龍小学校では、子どもの「自己決定」を大切に、私たち教員は、子ども達と毎日関わっています。

日	曜	6月の主な行事
1	木	短縮日課 運動会全体練習①
2	金	歯科検診（2年） 運動会座席抽選
3	土	
4	日	
5	月	講話朝会 運動会全体練習②
6	火	短縮日課 実行委員会②
7	水	運動会総練習
8	木	短縮日課 総練習予備日
9	金	短縮日課 実行委員会③ 会場設営
10	土	運動会 ※雨天時、順延
11	日	
12	月	振替休業日
13	火	短縮日課 ほかほかタイム（～23日）
14	水	放課後学習
15	木	短縮日課 歯科検診（1年）
16	金	通常時程 耳鼻科検診（1・4年）
17	土	
18	日	
19	月	委員会④ 読書週間～30日
20	火	短縮日課 交通安全指導日 参観日（1・2・3年）
21	水	参観日（4・5・6年）
22	木	短縮日課 議会見学（6年） 中休み読み聞かせ（2年）
23	金	短縮日課 2年社会見学（給食センター）
24	土	
25	日	
26	月	講話朝会 学校評価配付
27	火	短縮日課 体力テスト：シャトルラン（5・3・1年）
28	水	体力テスト：シャトルラン（6・4・2年）
29	木	短縮日課 体力テスト（4・3・1年）
30	金	短縮日課 社会見学3年（あやめヶ原）体力テスト（6・5・2年）

「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力お願い致します。

5月19日(金) 遠足



5月19日(金)、子ども達が楽しみにしていた遠足が行われました。当日の朝は曇り空でしたが、程よい気温で雨も降らず、天候に恵まれました。1年生は丘陵公園、3～6年生は宮園公園を目指して元気に歩きました。到着後は、鬼ごっこなどで友達や先生と一緒に遊んだり、おやつを食べたりと、楽しんでいる様子が見られました。保護者の皆さん、お弁当の準備等、ご協力ありがとうございました。

※当日、学年閉鎖期間中だった2年生の遠足は、6月16日(金)に実施予定です。詳細については、学年便りでお知らせいたします。

令和5年度 運動会

来る6月10日(土)に運動会が開催されます。昨年度同様、午前開催となりますが、感染症対策のための観覧人数の制限等はありません。観客席は、先日ご案内した通り全席指定です。6月2日に抽選を行います。その他プログラム等については、近日中にご案内いたします。

子ども達は、運動会に向け、一生懸命練習を行っています。本番では自分の力が十分発揮できるよう、期待しています。

植樹会・森林教室

5月16日(火)、5年生児童を対象にした植樹会・木育教室が行われました。これは、エステー株式会社・株式会社北都・釧路総合振興局の三者による「ほっかいどう企業の森林づくり」による事業の一環で、今年度は本校が対象校として選ばれました。

植樹場所である厚岸町登喜岱に移動後は、子ども達は意欲的にトドマツの苗木を植えていました。木育教室では、森林について学んだ後に木工工作进行了。子ども達にとって、森林や環境保護に対する関心を高めるよい機会となりました。



スクールカウンセラーのお知らせ

今年度も、スクールカウンセラーさんが本校に配置されることとなりました。これまでと同じく、元翔洋高校教諭の佐々木啓子さんが担当してくれます。月に1回程度の割合で、来校されます。詳細は、先日配付したカウンセラーだよりにてご確認ください。

カウンセリングは、児童に限らず、保護者の方も対象となっています。子育てで悩んでいることがあれば、お気軽にカウンセリングを受けることで、気持ち楽になり、新たな道が開けることもあります。要望がありましたら学校までお知らせください。

安心安全メールは届いていますか？

安心安全メールは、登録されたメールやアプリに無事届いているでしょうか。配信側では随時確認をしていますが、もし届いていない場合、学校までお知らせください。登録用のプリントをお渡ししますので、再度の登録をお願いします。

避難訓練

5月12日(金)に避難訓練を実施しました。火災が発生したことを想定し、実際に防火シャッターを下ろしてグラウンドへ避難する訓練をしました。

本校校舎は、火災が発生するとセンサーが感知し、自動的に防火シャッターや防火扉が閉まる仕組みとなっています。防火シャッターが下りている様子を間近に見て、降りた状態でシャッターにあるビニルの扉をすり抜けていく方法について、確認しました。



下校時見守り活動

5月25日(木)、地域の防犯協会や町内会、警察署など、さまざまな組織に所属する方による「下校時見守り活動」が行われました。

地域の方々には、子ども達の安心・安全を守るため、様々な面で支えていただいています。ありがとうございます。これからも、よろしくお願いいたします。



真龍小学校便り おすすめ本(R5. 4月号)

『山に木を植えました』

スギヤマカナヨ/作 畠山重篤/監修(講談社)

学校司書 小島郁子

9月17日(日)に、『全国豊かな海づくり大会北海道大会』が厚岸町で開催されます。

大会行事の一環として作品コンクールが開催され、真龍小学校の子どもたちも、絵や作文、習字で参加することになっています。

厚岸町の基幹産業は、水産業と酪農業、そして、林業です。この3つの業種は全く関係ないようでいて、実は深くつながっています。この大会の趣旨である、「豊かな海」を作るために欠かせないのが、山の保全、酪農で出る牛のふん尿が川を汚さないようにする仕組みです。なぜなら、木と落ち葉の多い山に蓄えられた栄養たっぷりの水が小川になり、川に流れ込み、湖や海にたどり着くからです。

このことをわかりやすく描いた絵本が、この『山に木を植えました』です。山に木を植えることがなぜ海を豊かにすることにつながるのか、科学的な視点をまじえながら描いてあります。

監修の畠山重篤さんは、宮城県で牡蠣の養殖を営む牡蠣漁師さんで、「森は海の恋人」を合い言葉に1989年から植林活動が続けている方です。

厚岸町では、今年6月に3年ぶりに町を挙げて植林に取り組む「厚岸町民の森植樹祭」が復活するそうです。この機会にぜひ、親子で植樹祭に参加し、山に木を植え、海のこと、山のこと、そして、環境を守ることを考えてみてはいかがでしょうかでしょう。

この本は、厚岸情報館と学校図書館に所蔵があります。

